第69回中国高等学校弓道選手権大会　実施要項

主　　催　　中国高等学校体育連盟　広島県高等学校体育連盟
共　　催　　広島県教育委員会
後　　援　　（公財）広島県スポーツ協会　広島市教育委員会
　　（公財）全日本弓道連盟　中国地域弓道連合会　広島県弓道連盟
協　　賛　　（公財）久保スポーツ振興基金
主　　管　　中国高等学校体育連盟弓道専門部　広島県高等学校体育連盟弓道専門部

１　期日および会場
（１）大会受付　　令和８年６月12日（金）　　８：３０～
（２）公式練習　　令和８年６月12日（金）　　９：００～１５：５０
　　会場　広島サンプラザホール
（３）開 始 式　　令和８年６月13日（土）　　８：４０～
　　会場　広島サンプラザホール
（４）競　　技　　令和８年６月13日（土）～14日（日）
　　会場　広島サンプラザホール
（５）閉 会 式　　令和８年６月14日（日）　　１４：２０～
　　会場　広島サンプラザホール
　　会場住所　広島市西区商工センター３－１－１

２　競技日程

日　　時	時　　間	競技内容
６月12日（金）	9：00～	公式練習
６月13日（土）	8：40	開始式
	9：00	個人競技　予選一回戦（女子・男子）
	10：05	個人競技　予選二回戦（女子・男子）
	11：10	個人競技　決勝（女子・男子）
	12：00	個人競技　表彰
	12：30	団体競技　予選（女子・同中競射）
		（男子・同中競射）
	16：30	決勝トーナメント組み合わせ抽選会
６月14日（日）	9：00	団体競技　決勝トーナメント一回戦（女子・男子）
	11：20	団体競技　決勝トーナメント準々決勝（女子・男子）
		５～８位決定戦（女子・男子）、表彰式
	12：40	団体競技　決勝トーナメント準決勝（女子・男子）
	13：20	団体競技　３・４位決定戦（女子・男子）、表彰式
	13：50	団体競技　決勝トーナメント決勝（女子・男子）
	14：20	表彰式、閉会式

※予定時刻のため、進行状況により若干変更する場合があります。

3　競技種目

個人競技　女子の部・男子の部（各県 12 名以内）

団体競技　女子の部・男子の部（１校…選手５名、補員２名以内）

4　競技方法

（１）36cm 霞的、射距離 28m、的中制。射手間隔は 180 cmとする。

（２）行射は、個人競技及び団体競技予選は立射、団体競技決勝トーナメントは坐射とする。

（３）個人競技（３人立４射場）

四矢２立（計８射）とし、的中数上位より８位まで決定する。同中の場合、優勝決定は射詰法、他は遠近法により決定する。ただし、射詰において５射目からは 24cm 星的を使用する。優勝決定以外の順位決定の際は、複数の射場で同時に行う場合もある。

（４）団体競技（５人立２射場）

①予選及び決勝は四矢１立（各自４射、計 20 射）とする。

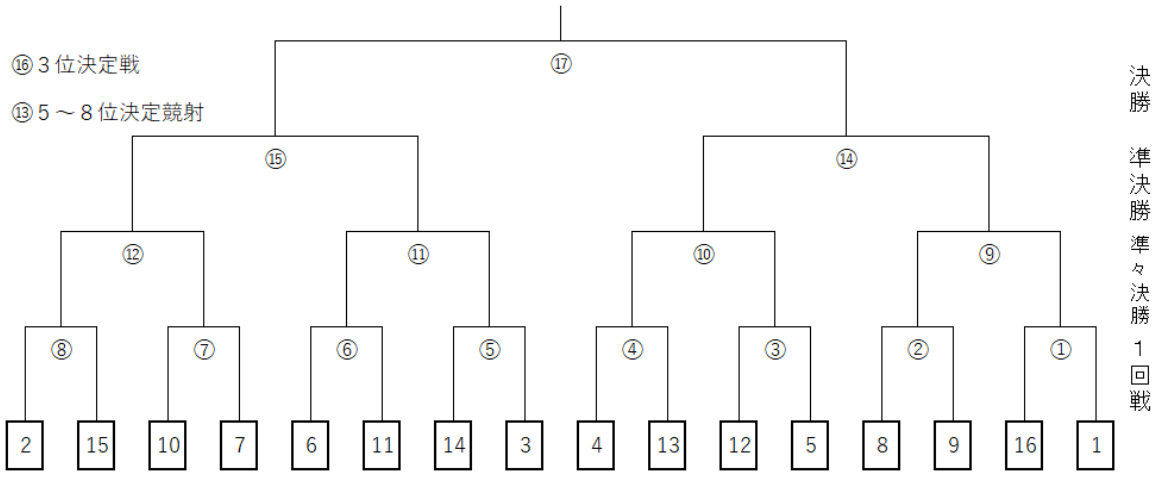
②予選は的中数上位 16 チームを通過とする。16 位のチームが複数ある場合は、各自１射ずつの競射を行い、その的中数で予選通過チームを決定する。

③決勝はトーナメント戦形式で行うこととし、抽選により組み合わせを決定する。同中の場合は、各自１射ずつの競射を行い、その的中数で勝敗を決定する。競射１本目は替矢を使用する。

④決勝トーナメントの組み合わせ抽選方法は次のとおりとする。

ア）予選的中４位以内の学校は、立順１番・８番・９番・16 番のいずれかに、抽選によりシードする。なお、同中により５チーム以上が該当する場合には、予備抽選を行い、上位４チームを決定した後に、シード抽選を行う。予備抽選で外れたチームは、予備抽選以外のチームとともに、シード後の抽選に加わる。抽選順番は、的中数順とし、同中の場合は、立順の順番とする。

イ）ア）以外の協議を要するケースが生じた場合は、各県専門委員長が協議して決定する。



※組合せの右側が第一射場、左側が第二射場、〇数字は試合順

⑤５位から８位は準々決勝の的中数により決定する。同中の場合は各自１射ずつの競射を行い、その的中数で順位を決定する。

⑥３位・４位決定戦は各自２射、計 10 射とする。同中の場合は各自１射ずつの競射を行い、その的中数で順位を決定する。

⑦①～⑥以外の協議を要するケースが生じた場合は、各県専門委員長が協議して決定する。

（５）競技の制限時間

①競技時間は本座における進行委員の合図によって始まり、最後の射手の離れで終わる。

②１団体 20 射の行射制限時間について、予選（立射）は７分以内とし、決勝トーナメント（坐射）は８分以内とする。それぞれ 30 秒前に予鈴、終了時点で本鈴の合図をする。

③弦切れ、その他の事故が生じても時間の延長はしない。

④個人競技及び１射ずつの競射については、進行係または射場審判の指示に従うものとする。

（６）選手の交代

①申込書に記載した立順及び補員の変更は認めない。

②団体競技の選手の交代は、予選前に１回、決勝トーナメント中に２回（ただし、決勝戦前は認めるが、同中競射前は認めない）の計３回まで認める。所定の用紙に記入し、第３控に入るまでに、監督が届け出ること。

（７）監督の変更

監督の変更は、所定の用紙に記入し、専門委員長会議前までに各県専門委員長へ提出すること。ただし、生徒の監督は認めない。

（８）審判その他は、（公財）全国高等学校体育連盟弓道競技規則による。

５　参加資格

（１）選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。

（２）選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本競技実施要項により、参加資格を得た者に限る。

（３）年齢は、平成 19 年（2007 年）４月２日以降に生まれた者とする。ただし、同一学年での出場は１回限りとする。

（４）チームの編成において、全日制及び定時制、通信制課程の生徒による混成は認めない。

（５）転校後６か月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、所属する高等学校体育連盟会長の認可があれば、この限りではない。

（６）出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。

（７）参加資格の特例

学校教育法第１条に規定する以外の学校の参加については、中国高等学校選手権大会開催基準要項のとおりとする。

６　参加制限

（１）団体競技

①男女ともに各県６校以内とし、１校１チームとする。

②開催県は男女ともに７校出場できる。

③前年度優勝校は、上記①、②以外として出場することができる。

（２）個人競技

①男女とも各県 12 名以内とする。

7　監督・引率責任者

（1）引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の２に示された者）も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出ること。

（2）監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、各県に規定があり、この基準により限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

8　参加申込

（1）申込方法　参加申込書・大会負担金は各県弓道専門委員長が取りまとめて、申し込むこと。

（2）申 込 先　〒733-8511　広島県広島市西区楠木町４－15－13　崇徳高等学校
広島県高等学校体育連盟弓道専門部　記録主任　吉田　拓司　宛
TEL：082-237-9331　　Mail：entry@hihi-kyudo.com

（3）申込締切　令和８年５月15日（金）必着

9　大会負担金

（1）団体競技　１チーム　25,000円

（2）個人競技　１名　　2,500円

（3）大会負担金の振込先は、各県専門委員長に別途連絡する。

10　表彰

（1）団体競技　８位まで　団体競技優勝校には優勝旗（持ち回り）を授与する。

（2）個人競技　８位まで　個人競技優勝者には優勝盾（持ち回り）を授与する。

11　宿泊・弁当申込

（1）宿泊料金　別紙宿泊・弁当要項を参照。

（2）申込方法　別紙宿泊・弁当要項をもとに、ＷＥＢから申し込むこと。

（3）申 込 先　近畿日本ツーリスト株式会社広島支店

（4）申込締切　令和８年５月15日（金）必着

12　諸会議

会 議 名	日　時	会　場
専門委員長会議	令和８年６月12日（金）13：30～	サンプラザホール　本部室Ａ
監督会議	（書面会議）	（書面会議）

13　連絡事項

（1）競技上の留意事項

①矢摺籐に意図的な目印と判断されるようなものがある場合、矢摺籐が破損している場合は、

布テープを巻いて使用を許可することもあるので、あらかじめ注意すること。

②射場内で発声による応援をしてはならない。また、射場外での応援は射術上の指示をしてはならない。射場外での応援は「よし」の発声または拍手に留めて、品位を保つように心がけること。審判員が競技に差し支えると判断した場合は、注意を与えることがある。

③矢番え完了後に筈こぼれした矢は無効とする。

④出場者は、四つ矢の他に替矢を２本持参すること。替矢の１本は筈割れ、他の１本は競射に使用する。

⑤第２控から第１控へ移動するまでに集合しない場合、その立に限り、その選手は失権とする。

（２）競技の服装について

①弓道衣・袴・足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一すること。

②弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一すること。襟付き・ハイネックは不可とする。

③鉢巻きを使用する場合、長さは肩までとする。

④リボン・ピアス等の装身具は禁止し、長髪の場合はゴム（黒または紺）で止めるよう指導する。

⑤服装違反に関する注意に従わない場合は、失格とする。

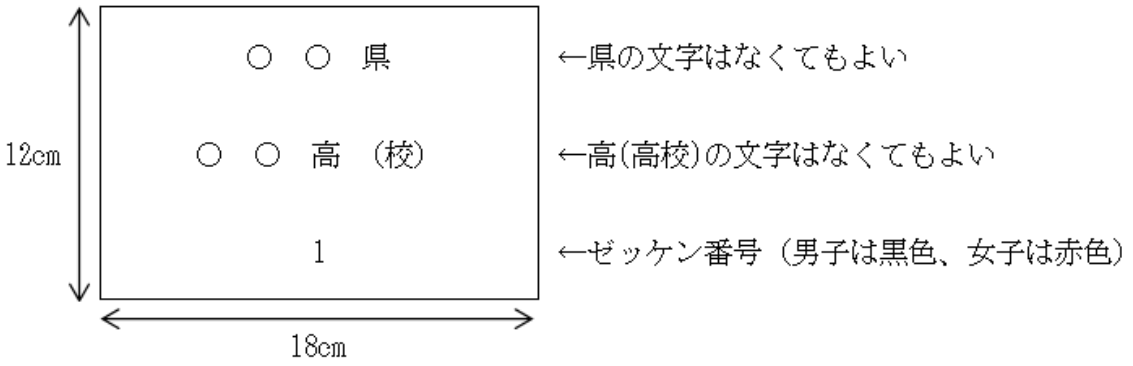
（３）ゼッケンについて

選手は、次の要領で団体・個人ともにゼッケンを作成し、右腰前に必ずつけること。

(a)布地は白色。県名・学校名は黒字。選手番号は、男子は黒色、女子は赤色とする。

(b)選手番号は、団体戦出場選手・個人戦出場選手ともにゼッケン番号とする。（団体競技と個人競技の両方に出場する選手は注意すること。）

(c)規格及び記載例



④団体競技出場チームのゼッケン番号は、各チームで１～７を決める。（６・７は補員）個人競技の場合は、各県で１～12（男女とも）を決める。

⑤ゼッケンは安全ピンで２箇所をとめる。あるいは、紐でとめてもよい。

（４）医療について

①会場には救護所を設置し、軽易な治療及び応急処置を行い、重症者については医療機関を紹介する。

②宿舎で患者が発生した場合は、宿舎提供者が最寄りの医療機関を紹介する。

③参加者は被保険者資格が確認できるものを持参すること。

（５）本会場での公式練習について

①６月 12 日（金）9：00～16：30（12：30～委員長会議あり）

②公式練習は、各県の練習時間を割り当てる。公式練習の内容に関しては各県委員長の指示によって行うこと。

広島県　　９：００～１０：２５（８５分）
山口県　１０：３５～１１：５０（７５分）
島根県　１２：００～１３：１０（７０分）
岡山県　１３：２０～１４：３０（７０分）
鳥取県　１４：４０～１５：５０（７０分）

③公式練習も監督の引率によること。

④行射方法は各県に任せるが、進行、矢取りも各県で行うこと。また、競技の服装で行うこと。

（６）その他

①開会式の代わりに開始式（優勝杯・優勝盾返還、選手宣誓）を行う。（関係者は５分前までに主会場にお集まりください。）

②更衣は更衣室を使用できるが、できるだけ宿舎等で着替えてくること。

③控室はメインアリーナの観客スタンドに設定された場所を使用すること。

④飲食については、メインアリーナの観客スタンドのみ認める。

⑤弓具をサブホールの指定箇所に置くことができる。

⑥巻藁はサブホールに設置する。

⑦巻藁の持ち込みは禁止とする。

⑧参加者の個人情報については、引率者（監督・コーチ含む）の指名、学校名、参加生徒氏名、学年、学校名等を、大会プログラム及び各種大会公式記録への掲載を目的として使用します。肖像権については、大会記録、メディアの取材等で写真撮影があるのでご了承ください。

⑨今後の変更点については、各県委員長から指示しますのでご注意ください。